

# みどり市地域文化財総合整備計画報告書

平成 20 年度

みどり市教育委員会



# 序

みどり市は、平成18年3月27日に旧3町村（新田郡笠懸町・山田郡大間々町・勢多郡東村）が合併したまちで、『平成の合併』において群馬県で48年ぶりに12番目に誕生した市であります。

本市は群馬県東部の渡良瀬川沿い、大間々扇状地に位置しており、足尾銅山の銅を運ぶあかがね街道の宿場町として、また、生糸の集散地として発展してきました。市域には有形・無形の文化財が豊富に存在しています。

みどり市の歴史で特筆する事柄は、岩宿遺跡の発見であります。岩宿遺跡の発見は1946年地元の研究者である相沢忠洋氏によって発見され、その後1949年に発掘調査が行われ、日本列島にも旧石器（岩宿）時代の人類が活躍していたことが証明されました。この発見は、「日本には旧石器文化はない」というそれまでの学説をくつがえし、日本に縄文時代より前の文化が存在することを初めて科学的に証明した、日本歴史学上の重大な事件でした。

銅山街道は江戸期・慶長十五年（1610年）に足尾銅山が発見され、産出された銅を輸送するために造られた街道であり、道筋は足尾から渡良瀬川沿いの山道を通り、道筋の東・大間々には御用銅荷物を継送りする継場と銅問屋が設置され、江戸（東京）の文化の影響をいち早く受け入れた宿場町として発展しました。

また、みどり市の歴史は、川沿いを中心に発展してきました。渡良瀬川沿いの河岸段丘を中心とした居住区は、稲作に向かない自然環境の要因であったのか、近世には養蚕が盛んに行われ、大間々を中心に近代まで生糸の産地として発展しました。

現在、合併後の平成20年3月に制定された「輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市」を合い言葉とする市総合計画を柱に、鋭意その事業遂行に邁進しているところであります。

市内には、国指定史跡2、登録有形文化財4、県指定重要文化財1、県指定史跡4、市指定文化財等50、をはじめ数多くの文化遺産が存在します。

このような中、この貴重な自然的及び歴史的文化遺産を明確にし、保存整備の方法を検討し次世代に継承するとともに、住民と行政と専門家が協働して整備活用を図ることを目的として「みどり市地域文化財総合整備計画」策定したものです。

今後、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、整備計画を基に具体的な事業に取り組み、先人が残してくれたみどり市の文化遺産を大切にしながらまちづくりを進めていく所存です。より一層のご支援をお願い申し上げます。

平成21年3月

みどり市教育委員会 教育長 岡崎 紀夫

# 例 言

1. 本書は、みどり市に所在する全ての自然的及び歴史的文化遺産の現況を把握した中で、整備要素あるいは公開要素となる文化遺産を抽出し、保存整備計画、活用計画の基とするための計画書である。
2. 地域に存在する歴史遺産・自然遺産の分布と現状、自然環境調査（地理・気象・植生・景観等の自然環境の概観）、社会環境調査（上位計画・関連計画・都市計画等の地区指定）、歴史的環境調査（地域の歴史的体系、遺跡地図・史料）、対象地域の現地調査を行い、地域風土の構成の把握、整備要素あるいは公開要素となる文化財の抽出、総合整備基本方針の策定、総合整備計画の立案、文化財保護・環境施策の実施計画、文化財活用計画を検討・策定すべき事項とした。

I	本計画の目的	
1.	目的	1
2.	計画の構成	3
II	みどり市の概要	
1.	概況	4
2.	自然環境	6
3.	歴史環境	16
4.	社会環境	19
III	地域文化財の概要	
1.	概況	26
2.	自然的地域文化財	26
3.	歴史的な地域文化財	30
IV	地域文化財の総合整備計画	
1.	基本方針	43
2.	活用の内容	44
3.	整備の内容	46
4.	今後の整備計画に向けて	47
	資料編	48
I	みどり市の植物	49
II	みどり市の動物	65
III	みどり市の歴史	72
IV	関連法令	87

